

# 銅山だより

No. 62

発行 平成21年12月  
国土交通省 東北地方整備局  
新庄河川事務所

銅山川砂防出張所



## 工事進捗状況

### 鹿の入沢第四砂防えん堤導流工工事

角川流域鹿の入沢に流出土砂の調節のために建設されている鹿の入沢第四砂防えん堤の付帯構造物として導流工が施工されました。これで工事用道路、主えん堤、副えん堤、導流工と長期に渡り実施されてきました鹿の入沢第四砂防えん堤の関連工事がほぼ終了しました！導流工の河床部には粗石付の魚道ブロックが設置され、ブロックのすき間には水深が確保される工夫がなされるなど生息する魚にも配慮した設計・施工となっております。



工事完成

11月末撮影

### 赤砂第八砂防えん堤工事

上流の大規模地すべり性崩壊地の約740万㎡の土砂の調節等を目的として、平成22年度の完成を目指して施工しています。今年度は、砂防えん堤本体や副えん堤、水叩きなどの施工を行いました。



今年度分終了

11月末撮影

### 横道沢第五砂防えん堤改築工事

横道沢において既存の砂防えん堤を改築し、完成後に堆積する土砂による横道沢地区の地すべり活動抑止効果を期待すると共に流出土砂の調整効果をさらに高める工事を施工してきましたが、副えん堤などの施工が進んでいます。



只今工事中

11月末撮影

豊牧地すべり関連工事として、豊牧地区の新規集水井工事や小坂野地区等の既設集水井のボーリング、既存集水井の洗浄、老朽化した排水側溝のリフレッシュ(入れ替え)工事等を行っております。

その他の工事



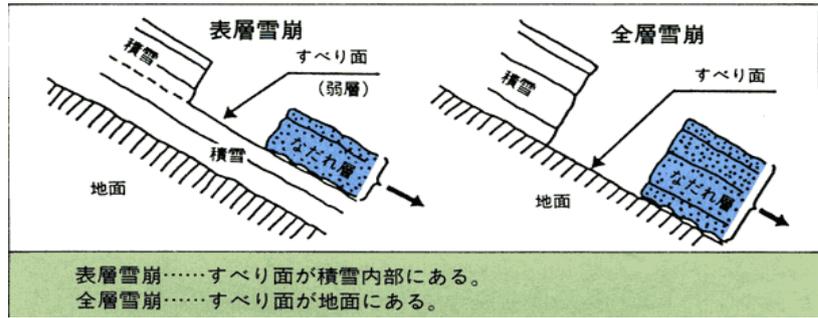
本年は、鶴岡市七五三掛地区の地すべりや西日本を中心とした豪雨による土砂災害などの大きな災害がありました。銅山川砂防出張所では引き続き、地域の皆様の安全・安心の生活基盤を守るため、砂防・地すべり対策事業を進めてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。



# 雪崩にご注意ください!



雪崩とは、山腹に積もった雪が重力の作用によって、目に見える程度の速さで崩れ落ちる現象をいいます。雪崩の種類としては、気温が低く、降雪が続くときに多く発生する「**表層雪崩**」と、春先の雪解け時期に多い「**全層雪崩**」の2つに分けられます。



下記にもあるように、これから2月頃にかけての厳寒期はとくに表層雪崩に注意が必要です。表層雪崩の速度はおおむね時速100~200kmと新幹線並みのスピードになります。大規模なものは巨大な雪煙を伴い、山麓から数kmに達することがあります。

## ~雪崩はどのような時に発生しやすいのか?~

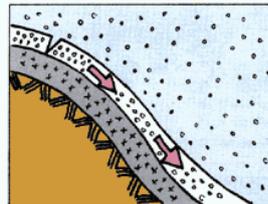
### ●表層雪崩の場合



①急傾斜の斜面に発生しやすく、特に雪庇や吹きだまりができていて斜面に多発します。



②気温が低い時、既にかなりの積雪の上に、短期間に多量の降雪があった場合。



③1月から2月にかけて多く発生します



### ●全層雪崩の場合



①過去に雪崩が発生した斜面や山腹傾斜地。



②気温が上昇する春先、降雨後やフェーン現象等で気温が上昇した時。



③斜面に積雪の亀裂が発生している時。



雪崩についてさらに詳しく知りたい方は、国土交通省砂防部HPの雪崩防災のページ (<http://www.mlit.go.jp/river/sabo/nadare.html>) をご覧ください!(^\_^)!

## お問い合わせ先

新庄河川事務所 銅山川砂防出張所  
〒996-0212 最上郡大蔵村大字清水字堀川 2346  
(TEL) 0233-75-2204  
(FAX) 0233-75-3023  
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou>

「銅山だより」に関するご意見や出張所の仕事に関する質問などをお待ちしています。お気軽にご連絡下さい!

## 豊牧地すべり資料館からのお知らせ

平成21年も多くのおみなさんのご利用ありがとうございました。冬期間は積雪のため閉館となります。春になりましたらまたのご来館をお待ちしております。(来年は4月下旬頃開館予定)

